

商店街活性化事業計画の概要

地 域	長野県佐久市	認定日	平成21年 10月9日
-----	--------	-----	-------------

事業名: 中山道 岩村田宿の歴史と文化を生かしたまちづくり活性化事業

事業者名: 岩村田本町商店街振興組合(長野県佐久市)

事業実施期間 平成22年4月～平成27年3月

商店街活性化事業の概要

・高校生を主役としたチャレンジショップ事業、農商工連携による地域ブランドの創生、大規模店舗と連携した地域通貨の導入等を実施することで、「中山道の趣を感じられる歴史と文化の町づくり」の実現を目指す。

商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

地域住民へのアンケート調査により、商店街への来街理由は「近い」、「金融機関の用事のついで」であり、大型ショッピングセンターへ買物に行く理由は「駐車場が広い」、「店舗数が多い」、「安い」などがあがった。さらに、商店街への希望としては「大型店にはないお店」、「ゆったりした駐車場」、「地域ならではの生鮮品や特徴ある品物を提供してほしい」などの多様なニーズが判明した。具体的な「高校生のバトルショップ」や「地域ブランド創生」、「地域通貨」、「道の駅事業」についても好意的な意見が多いことが確認された。

実施計画の主な内容

- ・商店街の空き店舗に新たに出来る地元高校を主役とした「バトルショップ」を開設し、高校で学ぶ実業の部分を体験してもらい、学校へフィードバックする。ニーズにあった製品・商品開発や起業を目指す高校生に対して商店街がノウハウを提供しながらバックアップする。高校生との日常的な連携により、新たな若者層の集客効果、高校生側の実務教育効果、さらに地域ブランド作りの効果、空き店舗解消効果といったことが期待できる。
- ・地元独自の農産品(佐久平米、安養寺味噌、鹿肉)を利用した商品の開発を実施することにより、新たな経済効果創出が期待できる。
- ・大型店と競合するのではなく共存するために近隣大型店で流通している電子マネータイプのカードが商店街内でも使用できるようソフトを整備し、各商店のマーケティング戦略へも活かす。
- ・その他、全国の商店街を対象とした「がんばれ商店街川柳77選」や内部人材の育成のための「将来の商店街を担う若手育成」研修事業を実施していく。

商店街活性化事業計画の目標

- ・経済的にも、文化的にも地域が連携し「中山道 岩村田宿の歴史と文化のまちづくり」テーマ - コミュニティの担い手として、共に生き、働き、暮らす街をつくる - を実現する
- ・平成26年度の目標として、商店街全体の来店客数を300%増、平均売上を160%増にする。

【空き店舗の活用事例】
(おかず市場)



【空き店舗の活用事例】
(寺子屋塾)



【イベントの様子】

